



次官より朝鮮憲兵隊司令官、電致  
 今回朝鮮各地に勃發せし騷擾に關  
 レテハ總督始メ貴官に於テモ最善ノ方  
 法ヲ講シアルコトト信ス事態如斯狀況ニ  
 至リレ上ハ漸手ヲ度量ニ出ツル外ナキモ  
 ト認メラル又騷擾ノ狀報ハ内地、誇大ニ傳  
 へラレ各種方面に悪影響ヲ及ホスノ恐レ  
 リ假テ之に關スル朝鮮ヨリノ通信ハ適當ニ  
 取締方取針ハレ度尚貴官の鎮壓方ニ就  
 テハ軍司令官ト密接ニ連絡ヲ保持シテ  
 ルコト、信スルモ甚シ大信ヲ軍司令官ニ運書  
 注意

0019

0022

方ノ希望事取次  
式ハ電請アル

陸  
一  
一  
七

三月  
十四日

金文  
抄

陸  
軍

0020

0023

首相外相 憲兵司令官 写真送附

大正十一年

陸軍省 電報譯 三月一日

三月三日

第七四號

電報譯 三月一日 日午前後 八時 分發

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮軍司令官

朝鮮第一號

京城ノ學生二三千人 一日午後三時頃、大韓  
門前ニ集合シ 独立ヲ宣言シ 昌徳宮ニ  
向ヒ一部ハ宮内ニ闖入セシトモ之ヲ制  
止セリ 右ノ如ク 飛勢稍不穩ナルヲ以テ  
勢給長ノ請求ニテ 出立三中队 騎兵  
一少隊ヲ派遣シ 援即セシム又 宣川ニモ  
独立運動アリ 同地 鉄道 援護隊ハ

六月三十日

0021

0024

叙え案官ヲ授即シテ之ヲ辭致セシメタリト  
云フモ未ダ詳報ニ接セズ

0022

0025

0029

長崎一〇二號共一

三月三日

三月三日



第六四號

電報譯 三月一日 日午前後 六時卅五分發

大臣宛 發信者 朝鮮憲兵隊司令官

今日未明當地ニ於テ朝鮮獨立ニ關スル宣言書ヲ發見セリ右宣言書ニハ天道教基督敎信徒等ノ署名アルモ裏面ニハ内地及同地學生ト密ナル聯絡アル見込ニテ搜查中午後二時ニ至リ中學程度ノ學生約一〇〇〇名集團ニテ民衆之ニ和シ市内ヲ行進シ示威的運動ヲ開始セリ今手配中右集團ハ各所ニ於テ韓國獨立萬歳ヲ辨

0023

0026

ヒ暴挙ニ出テス甚ク不穩ノ形勢無シ  
主謀者ヲ逮捕シ解散セシムル見込ニ宣言  
書署名ノ者大部直クニ逮捕セリ

0024

0027



第...の...ニ



第三日 第二八號

電報譯 三月一日午前九時三十分著

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮駐別軍司令官

朝鮮特ニ 京城ニ於ケル形勢一先ヲ録拜セ

ルニ 韓警戒中 ○ 蔚川ニ於テハ 韓人集團

シ 韓國旗ヲ揮立テ一日ニ一時頃 警戒ヲ罷止シ

テ 警戒ヲ解除シ 韓人ニテハ 捕

獲テ 引渡ス 午後二時 蔚川ニ退散セリ 蔚川

中ニハ 基督(センセイ)校生後多シ

(蔚川)

次官

次官

閣

陸軍

0025

0028



大正

陸軍

首相外務省に送る手紙  
附

第...の二號 共二

三月三日

第一五號

電報譯

三月三日 午前四時三十分發

大臣 宛 發信者 朝野軍司令官

朝野三

平壤に於てハ一日午後一時ヨリ耶蘇樹令及ビ

其時(會)學校 約二千

ヲ行ヒタル後独立宣言書ヲ朗讀シ不穩ノ

演説ヲナシ独立力成ラ唱フトスル形勢アリタルヲ

以テ憲兵約千名ヲ派シ解散ヲ命シタルカ解散

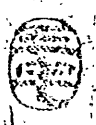
ニシタルニ市中ヲ徘徊シ稍騷擾セリ軍隊ハ未ダ

電文不明、新聞新多し、中絶也

陸軍

0026

0029



去第ノリニ號共四

三月三日

第八號

電報譯 三月 一日午前午後十一時二十五分發

大臣閣

決官閣

大臣宛 發信者朝鮮憲兵隊司令官  
 前電京城ニ於ケル群眾ノ運動ハ午後七時  
 一先ヲ鎮定シ衝突ナシ尚示威ノ目的ヲ以テ  
 步兵三中隊騎兵一小隊出動嚴重警告戒中  
 當地ノ外平北宣川元山平壤鎮南浦ニ  
 於テ群眾同様運動ヲナス平壤ニテハ一先  
 解散シタルモ夜ニ入り暴動ノ虞アルヲ以テ軍  
 隊百十名出動ス又宣川ニテハ鐵道終點戒  
 中軍隊應援午後五時鎮定群眾ニ

0027

0030

多少ノ負傷者アリ

0028

0031

大臣

大臣



少長第一のニ號共五

三月三日

第二五號

電報譯

三月二日 午前七時十三分發

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮駐劄軍司令官 平壤ニ於テハ 園部道長官ノ

請求ニ依リ 歩兵一中隊ヲ出動セシム

陸軍

0029

0032

号第一の二號共之 三月三日 第一號

電報譯 三月二日午前七時三十分發

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮總督

今日日當地ニ於テ天道教ト基督教徒ト其力  
トナリ 韓國獨立宣言書ヲ配布シタテ教ノ  
群衆獨立萬歳ヲ叫ビ、市内ヲ行動スル等  
不穩ノ状況ヲ呈セルヲ以テ憲兵ニ警戒ヲ命ジ  
テ之カ鎮定ニ從事セシメ、獨示威ノ目的ヲ以  
テ龍山ヨリ歩兵三中隊、騎兵一少隊ヲ京城ニ  
使用セリ、群衆ハ兵力ヲ使用スルニ望ムルニ  
テ鎮靜ニ歸セルモ獨警戒ヲ戒中

陸軍

0030

0033

大臣閣

次官閣



第 五 五 號

三月三日

第 五 五 號

電報譯

三月三日 午前午後 四時三十分 著

陸軍大臣宛

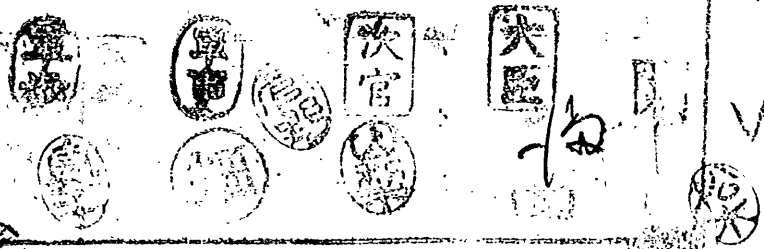
發信者 朝鮮駐別軍司令官

朝特六、平壤ニ於テ、一日午後十一時、平穩

ニ歸セシモ、尙嚴ク敬告中ナリ

陸軍

0034



密  
一〇三九八

三月三日

第 號

電報譯 三月二日 午前午後 十時二十分 著

陸軍大臣 宛 發信者 朝鮮軍司令官

永興 池邊要塞司令官より左ノ報告アリタリ  
○一日 午後二時頃 鮮人獨立宣言書ヲ配布シ不穩ノ行  
動アリ 敬重察 宜兵 右 御軍人ニノ 警戒中  
要 小 臺、ハ 異 情 ナシ

軍

0035

陸軍大臣宛

電報譯

三月二日

午前午後五時五十分

著

第一九號

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮軍司令官

朝鮮七

二日京城：於午後〇時半鐘路十字路  
 於約四百名ノ一團萬歳ヲ唱ヘテ一鐘路  
 警察署前、集リタル以テ直、發言官出動シ主  
 動者約二十名ヲ逮捕セシ解散セリ。右群  
 衆ノ大部分ハ勞働者、シテ少數ノ學生アリ。○  
 京城、於今其ノ右ノ状況昨夜未一般平穩  
 ナルヲ獨敬守戒ヲ要スル以テ總督ノ人命ニ係リ

陸軍



依然出各三半隊ヲ汎遣シアリ ○  
二日 鎗南陣、於テモ 解人蜂起シ 教令守小 固る 詰不替  
中 十人 報アリ、 道長官ヨリ 平塚部隊、 各カ 詰不  
アリシヲ以テ 將校以下 三十九名ヲ 汎遣ス。

(送付)

第百七十七号

三月三日

第一七號

電報譯

三月

二日

午前午後

三時

五分著

朝鮮大臣宛  
統督第八号上

發信者

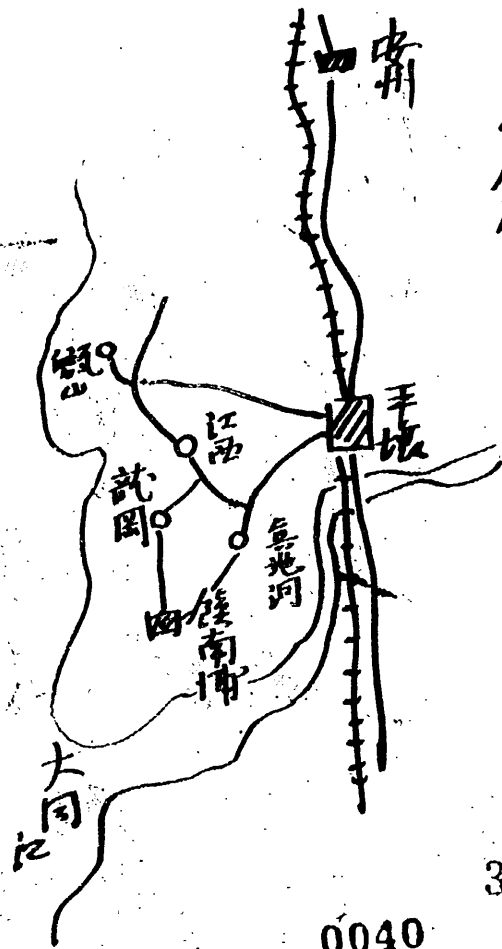
朝鮮砲術軍司令部

義州に於てハ一日午後三時解人約三百、即蘇我  
龍驤ニ集合シ、憲兵出動解散セシメ、十名ヲ押入

取調中

鎮南浦に於テハ解人警備隊あり龍驤ヒ空砲  
子等ニ投石シ解散ヲ強行シタルニ尚形勢不  
穩ナルヲ以テ更ニ兵力増加シ歩兵一中隊ト  
セリ

三、尚原又ハ平壤縣南約八里於テ鮮人  
 趙言案署ヲ裁衣ヒ署長以下ヲ捕縛ハ爾長官  
 ノ請死ニヨリ平壤部隊ヲ取敢ハス將校  
 以下十三名ヲ自劾申シテ送進シ尚平  
 生南道ニ於テ昨一日以來諸処ニ騷擾起  
 リ尚漫延ノ兆アリテ以テ總督ノ命令ニヨリ  
 鎮壓ノ爲迄宜京城屯在部隊ヲ使用ス  
 (トテ十九師屯長ニ命令セリ)



38

0040

上分發  
 心督  
 毛城にて平穩ナ  
 ラ脱之何事ヤ  
 アリミヲ以テ兵  
 ( )  
 毛魚事一今三日  
 一安南道ニ於テハ  
 部隊一部出動シ  
 且所ヲ破壊シ

第八二號

卷第六〇

八

37

0041

大臣

萬年一〇三號

電報譯 三月三日 日午前後六時四分發

第八二號

大臣宛 發信者 朝鮮總督

第二号京城ハ昨日午後多ク騷擾アリモ概シテ平穩ナ  
 リシカタ至リ小學校ノ生徒寄宿舎ヲ脱シ何事ヤ  
 企画シアルガ如キ稍々不穩ノ模様アリシヲ以テ步兵  
 三中队(騎兵中队ノ所屬隊ニ復セシレ)――  
 ラ依然然要処ニ配置シ萬一ニ備ヘシモ魚事一今三日  
 國葬儀ヲ終ハレリ今尚敬言戒中平安南道ニ於テハ  
 一日平壤鎮南浦ニ騷擾アリ平壤部隊一部出動シ  
 ニヨウゲンニ旅モハ 暴徒 巡查駐在所ヲ破壊シ  
 様原

敬言官ヲ捕縛シ之カ救援ノ為メ持枝以下若干名出  
 動シ亦安州ニ於テハ一日以來ノ騷擾尚止マズル等形  
 勢最モ不穩ナリシヲ以テ昨ニ日夜軍司令官ニ必要  
 ニ應ジ平壤ニ在る部隊ヲ使用シ鎮壓ヲ謀ルベシ  
 指示セリ只今得ル状報ニ依リ昨ニ午後  
ライドウドウ、ソウシ、コウセイ、大同江、靑山、龍岡、真地洞、等各地  
コウセイ、不穩形勢ニシテ、江西、及ヒ安州ニハ今三日各歩  
 兵十名ヲ派遣セリ平壤ニテハ本日午前群衆  
 再ヒ不穩ノ舉動ニ出タルヲ以テ之カ鎮壓ニ務メ  
 ツアリート

當地ノ外宣川平壤等ニ於テ群衆ヲ動搖シ運  
動ナセシ為軍司令官ハ臨機ノ處置トシテ宣川  
ニ於テハ鐵道ヲ警戒シ歩兵一カ隊平壤ニ於テハ  
歩兵約一中隊ヲ示威ノ目的ニ使用セリ

大臣

松本

第 一 〇 二 號 第 一 一 號

電報譯 三月 四 日 午前 七 時 二 分 發

大臣 宛 發信者 朝鮮駐劄官多田司令官

41

第三報

二日京城ニテ人約四百名運動ヲ為シ  
タルモ直ニ解散尚運動繼續ノ模様ア  
リ嚴重ナル警戒ノ下ニ三日ノ國葬無  
事終了ス平安南北道各地ニ同様ノ  
運動起リ警察官ノ暴行ヲ加ヘ警察  
署長一員傷ス平壤ヨリ昌原ニ歩兵

0044



十一鎮南浦ニ同三十七歩動ス三日平安  
 南道黃海道、同様ノ運動繼續シ歟  
 安<sup>イアン</sup>ニテハ群集前後三回、直ニ憲兵分  
 隊ヲ襲撃セラル以テ憲兵止ヲ得ズ安器ヲ  
 使用シ第二回、於テ暴民ニ死者六、傷  
 者九、第三回、於テ死者三、傷者九ヲ出  
 ス尙來襲ノ微アリ依テ平壤ヨリ歩兵  
 四十應援方手配中又安州ニテハ局  
 置中ノ被害ヲ脱監スヘリ約千名ノ群  
 集憲兵分隊ヲ襲ヒ暴行ニ出タルヲ以テ  
 安器ヲ使用シ暴行者中死者二、傷

者五ヲ出ス高  
コオセイソガシ  
ニモ  
平壤ヨリ歩兵十一出動ス  
危険ノ状アリ

密一〇二號 漢一三

三月四日

中言号

第二三號

電報譯

三

月

四

日

午前

八時

三十分

著

發

信

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮駐劄軍司令官

朝鮮特第一一號

44

馬原ニ於テハギンラン 暴徒ノ一團ハ拘留

者ヲ奪還セントシ三日午後三時警察署

ニ來襲セシカ軍隊ハ之ヲ撃退セリ。

午後四時約五十名ノ暴徒再舉來襲

セシヲ以テ白兵ニテ之ヲ撃退ス暴徒側

ニハ若干ノ死傷者アリシモノ、如シ。

平壤ヨリヤクトイヨウイカ 増負トシテ急派セリ。

空

尾

0047

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0048

大臣

次官

志一、二、六、一、凡

第七七號

電報譯

三月三日

午前午後五時

四分五十分著

大臣宛 發信者 朝鮮軍司令部 今官

朝鮮軍司令部 (冬煤信長向文)

一、平壤方面に於て、二日、新軍に、何事不穩

、果てし、三日午前、十時、附近、鮮人若所、

集合し、監視、北方、集會、せし、軍隊、之、對し、

解散、命、目下、沈黙、保、し、つ、ア、

二、鍾南浦方面に於て、其後、一般、新軍、す、

三、昌原に於て、前報、附、以下、十三、日、午後、

著、直、群、集、の、解散、せし、且、警、察、官、及、

45

0049

兵卒厚美ヲ取り返し主謀者三十九名ヲ捕縛シ

目下取調中

四、江西、平壤、西、約、ら、里、一、ニ、於、テ、二、日、子、前、十、日、

頃、鮮、人、約、一、千、名、と、シ、兵、卒、ノ、使、用、シ、之、ニ、對、

抗、午、軍、隊、ノ、派、遣、ヲ、請、求、シ、来、リ、シ、以、テ、特、殺、以、下、

十一、名、ヲ、派、遣、セ、リ、

五、才、十九、日、間、ヨリ、平、壤、ニ、派、遣、セ、シ、偽、兵、參、謀、

ノ、報、シ、依、シ、ニ、平、壤、鎭、南、浦、名、昌、京、ニ、派、遣、

シ、派、シ、平、壤、附、近、ノ、各、地、ニ、目、下、甚、シ、ク、憂、フ、

(キ、天、ノ、海、中、カ、如、シ、

六、平、壤、部、隊、ヨリ、川、内、ケ、ガ、イ、派、遣、セ、シ、兵、力、鎭、南、浦、一、中、隊、

以下不明

下士以下九名 昌草将校以下十三名

七、元山、於三月一日午後六時頃群集金部解  
散、雨後沈黙云々

47

陸

軍

0051



第一〇二號

三月三日

第八六號

電報譯 三月 四日 午前 午後 七時 三十一分 著

大正 八 三 七 日

陸軍大臣宛 發信者 朝鮮總督

48

第三號

一 京城ハ其ノ後 變化ナリ 三日 夜 先 歩 兵 一 中 隊 ヲ  
 原 隊ニ 復 収セシメタリ 開 城ニテハ 三日 耶 蘇 學 校 女  
 生 徒 不 穩ノ 挙 動アリ 多 數ノ 群 集ニ 合シテ 暴 行  
 ヲ ナシ 遂ニ 今 地ニ 在ル 鐵 道 後 護 隊 出 動シ 夜 半 鎮  
 靜ス

二 平 安 南 道 祥 原ニテハ 後 護 歩 兵ハ 警 官 及  
 武 器ヲ 鎮 靜ニ 収 斂セシメ 三日 午 後 再ヒ 天 道 教 徒 等

有 軍 令

陸 軍

軍 事 奉 令 六 〇 號

0052



不穩ノ舉動ニ出テ歩兵ノ制止ヲ聽カズ反抗シ暴民  
 十余名負傷ニ群集ハ解散セルモ午後四時平壤ヨリ  
 歩兵二十名急行ス安州ニテハ三日午後留置中ノ被  
 害ヲ奪還ノ為多數ノ暴民同地憲兵分隊ヲ襲ヒ暴民  
 行ヲナシ頑強ニ抵抗セルヲ以テ憲兵ハ不得止兵器ヲ使用  
 シ退散セシノ暴民ノ死者三、負傷五ヲ生ス尚今夜在  
 定州鐵道接護隊ヨリ下士卒一五名心接ス、清州ニテハ  
 四日朝群集憲兵分隊ヲ襲ヒ一先鎮撫セルモ尚不穩  
 ノ兆アリ將校以下二十名出動ス、査問ハ万一、備フル為  
 平壤ヨリ將校以下二十名ヲ派遣セリ  
 三、平安北道ノ義州ハ同ノ差迫リタル狀況ニアラサルヲ  
 獨立

運動ノ為未集多ク民心不安ナルニヨリ今四日朝軍  
 司令都官ハ將校以下二十名ヲ當分同地ニ派遣スルヲ指  
 示セリ、東川ニテハ三日又道教徒耶蘇教徒集団シ不穩  
 ノ拳動アリシモ無事鎮靜セリ、黃海道ニテ安三累  
 民三度憲兵分隊ヲ襲ヒ第一回ハ無事解散セルモ茅  
 二回第三回ハ頑強ニ抵抗シ憲兵ハ不得止器ヲ使用シ死  
 者九傷者一八ノ損害ヲ與ヘ又海州等ニ於テモ三日耶蘇教  
 徒集団シ不穩ノ拳動アリ、海州等ニ於テモ三日耶蘇教  
 ノ拳動アルヲ諒道一縣民心陰悪ヤルヲ以テ三日夜軍司令  
 官ニ對シ必要ニ際シテハ龍山屯在部隊ヨリ歩兵一中隊以下  
 ノ兵力ヲ適宜派遣シ得ル旨指示セリ 軍司令官ハ先國

莽ニ卷<sup>ニ</sup>引<sup>レ</sup>ニ<sup>ル</sup>歩<sup>兵</sup>七<sup>七</sup>聯<sup>隊</sup>ノ中<sup>隊</sup>中<sup>ヲ</sup>將<sup>校</sup>以<sup>下</sup>ニ<sup>レ</sup>  
名<sup>ヲ</sup>水<sup>安</sup>ノ急<sup>行</sup>セ<sup>シ</sup>ノ<sup>リ</sup>

0055





陸

大臣院

次官

第四報

第 一 〇 二 號 共 一 七

電報譯

三月

四日

日午 前發

九時

一四五分

分發

第 五 號

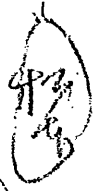
陸軍大臣 宛 發信者 京城

朝鮮駐劄軍司令官

53

言前電云京畿道南城ニ群集警官派出  
 所ヲ襲テ軍隊ヲ出動ニテ解散ニ査一員傷ス  
 曹 平安南道 黃海道 各地ニ騷擾續テ成  
 川ニテ棍棒等ノ兇器ヲ携ハル約二〇〇ノ  
 果民憲兵分隊ヲ襲ヒ止メテテ茶砲 暴民ニ死  
 傷二〇余名ヲ出シ一先退去セシモ尚不穩ノ状アリ

左



軍部事務第六〇号

三月廿六日

大正八年三月十四日

0058

平壤より歩兵將校以下二〇出動ス憲兵  
 分隊長右膝下ニ重傷ヲ受ケタリ又同  
 及<sup>ウツサ</sup>不穩ノ状アリ依テ平壤  
 より歩兵將校以下二〇出動ス。閉城ハ再ビ  
 約七百五十群集市内ヲ練リ歩兵軍隊出  
 動解散セシム

第六六號

三月五日

電報譯 三月四日

日午前午後

三時五分

第六六號

陸軍大臣宛

發信者

朝鮮軍司令部

55

朝鮮第一二軍

一、遂守(平壤東南約十五里)ニ於テハ三日午前

六時天道教徒軍兵分隊ヲ薙去一旦解

散セシメタルモ午前土時及午後一時ニ四回

リ來襲セシメリ死傷者ヲ生シ形勢不穩

ナルヲ以テ軍兵隊長、請求ニヨリ不取敢歩

兵六十七名、駐隊ノ一小隊(約二十名)ヲ派遣

セリ該部隊ハ四日以後、步兵七十八名隊

甲村

第六六號

0060



ト交代セシムル竹書

二義州ニ於テハ前報後解人尚不穩ノ後

アリ道長官ノ要求ニヨリ新義州守備

隊ヲ一小隊(三十名)ヲ四日午前一時同地

ニ派遣セリ

三開城ハ於テモ多數解人不穩ノ象アリ

ニ警察ノ請求ニヨリ三日午前九時同地

アル鐵道掩護隊ヲ一小隊(三十名)ヲ

出勤セシメタルニ午後十時砦鎮靜ニ歸

セリ

四安州ニ於テ三日午後ヨリ群集約三千

憲兵方隊ヲ包圍シ韓國旗ヲ立テ其威  
 フ唱ヘ爲置申ノ被害放還ヲ迫リ不穩ノ  
 情アリ同地分隊長ヨリ依頼ヨリ定州  
 鐵道掩護隊ヨリ下士以下十五ヲ派遣セ  
 リ  
 又咸興(咸鏡南道)ニ在テ二日夜半ヨリ韓人  
 學生ヲ中心トスル徒黨獨立宣言書ヲ配賦シ  
 稍々不穩ノ情アリ之概ヲ鎮靜シ目下兵  
 カラ使用ニ至ラス

三月二十日 第五回

三月五日

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣宛

甲村

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣宛

陸軍大臣宛

三月五日

第八二號

電報譯

三月四日

日午後八時

分著

58

0063

陸軍大臣宛 發信者

朝鮮軍司令官

朝鮮軍十三号

一、成川(平壤東北十二里)ニ於テ四日午前  
十時多敵ハ暴徒ニ誘ハレ分隊ニ未龍名シ  
分隊長重傷ヲ受ケ死傷者アリ由リテ  
歩兵第七七隊隊員ヲ將校以下二千名自  
動車及自轉車ヲ急派セリ

山境

左

右



陸軍部 第二號 共二ノ

三月六日

第九ノ 號

電報譯 三月五日 午前午後 七時一八分 分發

59

大佐 宛 發信者 朝鮮軍憲兵司令官

(五) 四日 平南 江西郡 沙河 (平壤ノ西ノ重塔川)

駐在所ハ果民ノ程列ナル襲撃ヲ受ケ糧糶

盡ル迄抵抗シ遂ニ所負(上等兵一補助員三)

全部殺害セウシタリ又平北(宣)軍練引統キ

果民約六〇〇蟬赴シ警柝署危險ノ備アリ

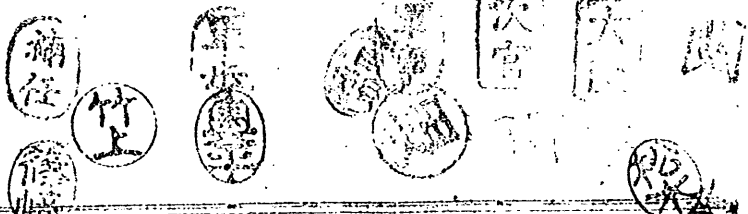
派遣軍隊在御前入内地人ヲ應接領壓

ハ努力尚形勢不穩

漢南漢北ノ果民約二〇〇發援軍隊出動先

咸身

陸軍



陸軍部 第四ノ 號

0065

ツ鎮塵ノ累民死傷六我、輕傷九前電  
 負傷ノ<sup>セイヤ</sup>川分隊長中尉政池覺造、<sup>60</sup>遂ニ年  
 後、<sup>60</sup>野死セリ  
 五日京城ニ再ヒ學生ノ示威運動ヲ初メタルヲ  
 平壤通ヨリ汽車一ラ多数ノ學生來京京城  
 ヲ<sup>精</sup>動スルノ損核アリ今朝一、<sup>60</sup>餘名ヲ<sup>捕</sup>  
 シ一科<sup>隊</sup>殺セシヤ又<sup>イ</sup>平南陽德<sup>イ</sup>（平壤ノ東北約  
 三ノ里）ニハ憲兵分遣隊ニ累民ノ強襲ヲ受  
 ケ兵器ヲ使用シ擊退中ナリ同所ニ來校中  
 ノ<sup>キ</sup>全南組<sup>イ</sup>合理事<sup>イ</sup>一將一死傷ヲ受ケ累民中  
 ニ<sup>ニ</sup>七十<sup>十</sup>數名ノ死傷アリ各々ノ情況ハ最早

警務署ノミテハ鎮壓困難ト認メ軍隊  
協力方目下協議中

61

0067

陸軍部 第六二號

三月六日

第一〇四號

電報譯

三月五日午前七時五分著

62

大臣宛 發信者 朝鮮總督

第四部 京城、其後平穩ナリシモ五日朝

平壤より約二〇〇ノ學生來京シ多数ノ群集

之ニ合シテ市内ノ行動ニ不穩ノ象ヲ出ヅ

憲兵警備官之ヲ解散セシメタリ先ニ龍山

より招致セル歩兵三中队ノ内一中隊ヲ止メ他ハ

五日朝所屬隊ニ降復セシメタリ平安南道

平壤ハ未ダ全ク鎮靜ニ歸セズ

高山ニ不穩ノ情状アリ 備完

陸軍部

0068



日中塚ヨリ將校以下ニ急行ス陽徳  
ニテハ五日朝果民憲共分遣所ヲ襲ヒ憲  
 兵之ガ鎮壓ニ努メ果民並テ殺傷ヲ  
 生じタル報キナルモ其後ノ報告ニ接セス  
 手突北通全報ノ發擾尚也マス昨四日午後約  
 六千ノ騎集又々不穩ノ舉ヲ出ヅ軍隊及民  
 兵協力シテ一先鎮壓セシモ再舉ノ虞アリ  
 軍司令官ハ之ニ對シ必要ノ処置ヲ取レリ  
 茨川ニテハ四日午後約六ののノ耶蘇教徒  
 令セルモ無事同教セシメテリ咸鏡南通  
 ニテハ四日午後騎集再々發擾シ一應鎮靜

したるも尚ホ 情況不穩ナリ  
 今更ニ従軍シ 爾後平穩ナリ  
 之ヲ要スルコト  
 今更ニ發擾ニ對シテハ 將來或ハ積極的行  
 動トホフツヤハ 是非ナキヲ保セザルモ目下  
 此ノハ未ダ其ノ要ヲ認メズ